

## 別記様式

## 議 事 録

会議の名称	令和2年度第4回岩倉市男女共同参画基本計画推進委員会
開催日時	令和2年11月24日(火) 午前10時から12時まで
開催場所	岩倉市役所 7階 第2・3委員会室
出席者 (欠席委員・説明者)	出席委員：日置委員長、杉浦委員、千村委員、水越委員、 寺澤委員、山田委員、村平委員 伊藤委員(秘書企画課長)、富委員(福祉課長)、 神山委員(商工農政課長)、原委員(健康課長) 石川委員(学校教育課長) 欠席委員：関戸委員、濱田委員、小川委員 事務局：小松協働安全課長、須藤統括主査、 桑野主任、大嶋主事
会議の議題	・協議事項 (1) 岩倉市男女共同参画基本計画2021-2030第3章について【資料1】
議事録の作成方法	■要点筆記    □全文記録    □その他
記載内容の確認方法	■会議の委員長の確認を得ている □出席した委員全員の確認を得ている □その他( )
会議に提出された資料の名称	【資料1】岩倉市男女共同参画基本計画2021-2030 第3章 基本目標2まで(案)
公開・非公開の別	■公開    □非公開
傍聴者数	なし
その他の事項	議事録作成者 大嶋

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 あいさつ

日置委員長よりあいさつ

2 協議事項

（1）岩倉市男女共同参画基本計画2021-2030第3章について

【資料1】を用いて事務局より説明。

1 計画の基本理念

委員 計画の基本理念について、文章が長いのでコンパクトに短くした方が良いと思う。みよし市では、1ページで基本理念と目標をまとめている。また、5ページの施策の展開が右ページから始まるのは見にくいので、左ページから始めるべき。

基本理念の中で、曖昧な表現でのまちづくりではなく、岩倉の女性計画を作るという気持ちを入れていきたい。計画を読んだときに岩倉だとわかるような書き方をすべき。

岩倉市の動きについて、前回の会議では文章が長いので年表を作成するということがあったが、年表は資料として計画の最後につけるべきだと思う。

第1章で、国や県、市の取組について記載があるのであれば、第3章で改めて記載する必要はないのではないか。

事務局 第1章の年表について、現在まとめており、修正について検討する。第3章の基本理念の中の岩倉市の取組についても、内容を削るかどうか、みよし市の計画も参考にしつつ、よりすっきりさせるような形で検討する。また、岩倉市の計画だとわかるような形で、修正する。

委員長 説明の最後にマルチパートナーシップのまちづくりというようなことを言われたのであれば、実施しているという文も入れた方が良いのでは。

事務局 わかりました。

委員長 市の取組について、第1章を簡潔に文章で書いて、詳しい取組内容は年表で国、県、市ごとに作成し最後につけるということで良いか。

基本理念の3段落目に、基本目標の4項目を入れてあると言われたが、最後の「あらゆる暴力の防止に取り組む」という目標が抜けているので、例えば、3段落目の下から3行目の文、「自分なりの役割を持って能力を発揮しながら」の後に「あらゆる暴力の防止に努めるとともに」、という一文を入れるべき。

事務局 追加をするような形で、修正する。

2 計画の基本目標

委員長 2ページから3ページの施策について、具体的に書かれているような気がするのですが、基本目標はざっくりと総論だけにした方が良い。4ページに入っている体系図をこの3ページのところに入れて、見開きで基本目標と体系図という構図にすべき。

事務局 みよし市の計画と同様に、基本理念があり目標がある形で記載した方が良いか。

委 長 1 ページで基本理念、目標が記載されているので、他市の上手なところを参考にすればよい。

事務局 他市町を参考にしつつ、もう少し簡潔にまとめる形で修正する。

委 長 キーワードをきっちり抑えないと、言いたいことが見えてこない。目標はもっと短い文章で記載すべき。

事務局 もう一度事務局で精査する。また、次回改めて示させていただく。

委 員 基本目標の(1)のその下に「意識啓発の継続」とか、(2)のところには「就業・雇用環境づくり」とサブタイトルが書いてあるが、以前の計画では、体系図がありわかりやすかった。今の計画(案)では、なぜ括弧書きであるのか、よくわからないので、整理した方がよい。

事務局 改めて検討する。

委 員 前々回ぐらいのときにもらった資料、「男女共同参画基本計画の性格と位置づけ」の図は変更版でつけないのか。

事務局 第1章で、記載するよう考えている。

委員長 基本目標(5)の「あらゆる暴力の防止に取り組む」のサブタイトルは記載されるのか。

事務局 入れないとバランスがとれない気もするので、お知恵を頂きながら記載したい。

委員長 2ページ、3ページのところは、それぞれの内容を具体的な施策より、もう少し理念的なものに形を変えてくれた方がよい。

委 員 目標と聞いたとき違和感があり、例えば基本目標1の(1)意識改革を進めるというところでは、進めることが目標になっている。男女が尊重しあう意識改革の「実現」とか、「実現」等の言葉は、どちらかというところでの決意、意識的な現れだと思う。逆に進めるというのはどちらかというところでの捉え方によって進めただけとも受け取れる。

事務局 おっしゃられた内容の該当する場所は(1)のところだけか。

委 員 他もそういう意味では曖昧かと思う。

委 員 他のところも修正すべき。なぜならば、例えば地域環境づくりのところでも、「環境整備を進めます」ではなくて、「誰もが地域に意欲と能力を生かして活動に参加できるようにする」、というような言い切る形でないと目標にならない。目標は目標としてきちんと掲げてほしい。

事務局 ご意見を参考に、事務局で検討させていただき、またお示しする。

### 3 計画の体系

委員長 普通、体系図があると、見開きで方向性があるって、右ページに具体的な政策が来て、担当課が来る。そうすると見開き2ページで、どこの課がどういうことをしているのかほとんどわかる。そういう作り方をしている市町が多い。また、取組目標では具体的な数値を入れられるところは入れていく。数値目標が、6ページ以降、表として入ってくるところもある。

委員 今まで体系を見開きで作成してきたので、レイアウトを変えて担当課をはっきりさせるのであれば、それぞれの取組施策の後に各担当課を入れておけば良いと思う。

進捗状況の報告書は、最初の会議で成果指数が出てきているので、実績値と目標値を、各施策の下のところに入れるべき。

事務局 前計画においても体系図等は見開きで作っているの、見せ方、見やすさの改善を加えていく。成果指標で数値目標と入れているので、修正部分と新しく設定する部分があるが、検討していく。

委員長 何かを推進しますではなくて、何を実現するか、というときにプランを読んで、市民が一番わかりやすいのは、数値目標。目標値から行政の取組意欲が読み取れるし、数値目標を入れられるところは入れた方が、わかりやすくなる。

委員 基本目標（４）の「世帯」という言葉について、必ず世帯主がいてファミリーになっているところばかりではないので、世帯という言葉を使用するのはどうだろうか。

委員長 確かに世帯という言葉には、世帯主を中心にした古いイメージがいわゆる近代家族の核家族の形というイメージがあるが、それが今崩れかけているので、「家庭」や「家族」という表現でも良いと思う。

事務局 候補としていただいたので、検討する。

#### 4 施策の展開

##### （１）男女が尊重しあう意識改革を進める（意識啓発の継続）

委員 ５ページの「現状と課題」の結果について、まとめて最初に「現状と課題」がアンケート結果により書いてあるのは、おかしい。アンケート結果は、所々必要に応じて内容の一部として入ってくると思う。各項目の現状課題、具体的施策、それから成果、現状値、目標値を記載して欲しい。

事務局 前回の計画のような、基本方向ごとに「現状と課題」を載せて、それぞれ取り組む施策を加える形で修正する。

委員 各課の取組内容について「主な所管」という表現だが、担当課ではないのか。取組内容については、今までやってきた基本計画の取組内容をそのまま書いている。きちんと施策の目標を、何のためにこういった具体的なことをやるってというような書き方をしないと、進捗状況報告書と変わらない。

レイアウトは字が詰まっていて、読みにくいので、レイアウトの変更と内容を具体的に書いてほしい。

委員長 体系図の中に、取組内容、担当課がある。取組内容が文章になっていたが、体系図にするときは、文章でなくても、項目だけでも良い。取組内容の大半は、これまでの取組の継続。これからの１０年に向けて、いまの計画の取組にプラスアルファして、いくつか出てこなければいけない。新しい取組は、（新）と入れる。

（新）というのは、この１０年先に向けて新しい取組が入ってきたと分かり、（新）が入ってないところは、これまでの取組をそのまま延長継続とする。メリハリがつくと良いと思う。

基本目標1の(1)、(2)、(3)の中で「人権の尊重」が最後になっている。人権のところが一番上に来て、それに基づいて啓発活動とか支援があると良い。そうでないと、施策の展開(1)のところの文章の2段落目の2行目に、「子供の頃からの人権教育が重要となります」と、いきなり人権教育が出てくる。しかし(1)では人権は取り扱わない。人権が最初に出て、そして意識啓発、それから支援、こういう順番で行った方がいいと思う。

それと、人権のところ⑤項目として国際理解、多文化共生が入っている。外国籍の方の人権を尊重するという意味で、人権の中に入れても良いと思うが、国際理解等多文化共生の項目を、施策の方向性の中で(4)として立てた方がいいのではないか。

8ページの、人権の尊重の中に、「外国籍市民への相談」と文書の中にはあるが、取組の中に入ってくると、外国人になっている。そこら辺の言葉を使い分けるのであれば、使い分ける。統一するなら、統一した方が良い。

それから、ハラスメントが人権の中に入ってくるのは、それはそれでいいと思うが、初めから計画を読んでいくと、基本目標での「(5)あらゆる暴力の防止に取り組む」に、ハラスメントの内容が入っていた。そうしたら、突然人権のところハラスメントが出てくるので、最後の暴力についての施策の展開のところはどう書かれるのかわからないが、そこではハラスメントは抜け落ちるのではないか。ハラスメントは確かに人権の側面があることはある。悩ましいところだが、どちらに入れるのか、考えた方が良い。

あと、「①人権に関する教育・啓発の推進」の福祉課、長寿介護課の内容に違和感を感じる。基本目標4の「多様な世帯の安心な暮らしを形成する」に入れた方が良い気がする。発達障害者啓発週間は障がい者に対する人権ということで、この取組の中に入れてもいいと思う。

障害者の害はひらがなで使われていることが多いので検討してほしい。「②あらゆるハラスメント防止の啓発」の中の学校教育課の不祥事防止についての取組とあるが、不祥事とはなにか。

委員 教員の方の不祥事だと思う。

委員 8ページの認知症ケアアドバイザーについて人権のところは、認知症への理解を進めるということで、認知症ケアアドバイザー会と協働してというところここに入ってきていると思うので、理解を促進するという意味では、この人権のところに入れてもいいかと思う。

委員長 いわゆる認知症の方にも障がい者の方にも人権があるという意味では、確かに入りうる。

委員 記載の仕方が悪い。

委員長 具体的な説明をもう少し記載した方が良いと思う。

委員 LGBTについて記載があるが、SOGIについては記載がないのか。

事務局 検討する。

委員 努めます等の言い回しの表記が気になる。また、本当に必要な政策が漏れていないかと、全体を網羅できているかということに対する疑念がある。

事務局 表記の仕方は改め、再考検討する。

委員長 産業医による相談を実施するのは市がやるのか。普通は企業に設置が義務付けられているのでは。

委員 職員向けにやっている。

委員長 市職員向けと記載しておくが良い。

事務局 改めさせていただく。

(2) 多様なライフスタイルに対応した就業・雇用環境を形成する(就業・雇用環境づくり)

委員 「働き方改革」だけではなく、国が言っている「暮らし方改革」という言葉も必要だと思う。

委員 ノー残業デーについて、職員向けにやっている。市役所がやっている事業と、民間がやっている事業を分けた方が分かりやすいのでは。

委員長 新しい取組として記載があるので、これはこれで良いと思う。岩倉市が率先してやっている事でPRできると思う。

委員 「岩倉市では～」という形で、どこが、どういう取組をしているかわかるように記載した方が良い。

委員長 主な所管に、(新)とついているところは、初めて取り組むところか。

事務局 会議として分かりやすいように(新)を入れているので、計画では載せない予定。

委員長 本当に新しい取組であれば、きちんと(新)を入れてもいいような気がする。新しい計画なので、これから先10年、岩倉市としてどういう新しい施策、どういう新しい取組内容で、岩倉市をどういう方向に持っていくのか、考えるべき。新しい取組が少しでもあると良い。

### 3 その他

次回開催日程の案内

以上